

フランス語学フランス文学

授業科目名	授業題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日 講時
フランス文学特論Ⅰ	フランス文学研究論文制 作法(1)	2	今井 勉	1	火曜2限
フランス文学特論Ⅱ	フランス文学研究論文制 作法(2)	2	今井 勉	2	火曜2限
フランス文化学特論Ⅰ	Introduction to French- speaking African literature	2	講師(非)	2	木曜1限
フランス文学研究演習Ⅰ	近現代フランス文学テクス ト読解(1)	2	今井 勉	1	水曜2限
フランス文学研究演習Ⅱ	近現代フランス文学テクス ト読解(2)	2	今井 勉	2	水曜2限
フランス文学研究演習Ⅲ	フランス語・フランス文学 史の諸相(1)	2	黒岩 卓	1	月曜3限
フランス文学研究演習Ⅳ	フランス語・フランス文学 史の諸相(2)	2	黒岩 卓	2	月曜3限

科目名：フランス文学特論 I

曜日・講時：火曜 2 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：今井 勉

コード：LM12203, **科目ナンバリング：**LGH-LIT638J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学研究論文制作法（1）

2・授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。

3. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第1回 導入
- 第2回 内在批評と外在批評
- 第3回 テクストの価値づけ
- 第4回 先行研究へのリスペクトと文献目録
- 第5回 最新の本文批評版および最新の研究への目配り
- 第6回 比較断章法（1）
- 第7回 比較断章法（2）
- 第8回 「注」への注意
- 第9回 問題設定は自分にしかできないということ（1）
- 第10回 問題設定は自分にしかできないということ（2）
- 第11回 執筆要項の順守
- 第12回 研究ノートを書いてみよう（1）
- 第13回 研究ノートを書いてみよう（2）
- 第14回 修士論文の構想（1）
- 第15回 修士論文の構想（2）

5. 成績評価方法：準備をしたうえでの授業への参加状況 100%

6. 教科書および参考書：Google クラウド上に資料を配付します。

7. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：フランス文学特論Ⅱ

曜日・講時：火曜 2 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：今井 勉

コード：LM22205, **科目ナンバリング：**LGH-LIT639J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス文学研究論文制作法（2）

2・授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。

3. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

- 第1回 夏休みの課題の検討（1）
- 第2回 夏休みの課題の検討（2）
- 第3回 展開フィードバック（1）
- 第4回 展開フィードバック（2）
- 第5回 研究の過去・現状・意義（1）
- 第6回 研究の過去・現状・意義（2）
- 第7回 引用とは何か（1）
- 第8回 引用とは何か（2）
- 第9回 引用をつなぐ（1）
- 第10回 引用をつなぐ（2）
- 第11回 発表レジュメと引用集（1）
- 第12回 発表レジュメと引用集（2）
- 第13回 トポスの範囲確定と問題化（1）
- 第14回 トポスの範囲確定と問題化（2）
- 第15回 まとめ

5. 成績評価方法：準備をしたうえでの授業への参加状況 100%

6. 教科書および参考書：Google クラウド上に資料を配付します。

7. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。

8. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

9. その他：

科目名：フランス文化学特論Ⅰ

曜日・講時：木曜1限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：講師（非）

コード：LM24103, **科目ナンバリング：**LGH-LIT642F, **使用言語：**French

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Introduction to French-speaking African literature

2・授業の目的と概要：This course introduces African literature written in French. It offers a historical journey from the origins of this literature at the beginning of the 20th century (or even earlier) to its contemporary developments and perspectives. Students will discuss

3. 学習の到達目標：Students will be able to

- Situate French-speaking African literature in world literature
- Identify the main actors in French-speaking African literature
- Analyze works of French-speaking African literature

4. 授業の内容・方法と進度予定：

(This class is conducted online.)

The course includes theoretical sections during which students will debate specific aspects of African literature such as the relationship between writers and the French language. These sections will be followed by practical activities aimed at deepening the debates through text analyses, written productions or discussions with actors in the literary world.

The course includes 15 sessions of one and a half hours.

Session 1. Literatures are also born

A comparative approach to the births of French literature and French-speaking African literature with an examination of the issues related to the staging of these births.

Session 2. René Maran and Bakary Diallo

Analysis of excerpts from the works of René Maran and Bakary Diallo with a view to extending the discussions on the birth of French-speaking African literature.

Session 3. Negritude

A look back at the history of Negritude and the issues surrounding this literary movement.

Session 4. Aimé Césaire

Analysis of a work of Negritude with identification of the characteristic elements of Negritude.

Session 5. The question of language

Discussion on the relationship of African writers to the French language.

Session 6. Ahmadou Kourouma

Extension of the discussion on the relationship to the French language through the writing strategies of the writer Ahmadou Kourouma known for having “Malinkinized” the French language. Possible presence of a contemporary writer to talk about his relationship to the French language.

Session 7. Novel of the dictatorship

Discussions on the way in which after the independences that occurred in the 1960s, African writers criticized dictatorial regimes.

Session 8. Sony Labou Tansi

Sony Labou Tansi’s novels such as *La vie et demi* are representative of the novel of the dictatorship. An analysis of excerpts from these novels will allow us to better understand their characteristics and issues.

Session 9. African literature on the Internet

The Internet plays an increasingly important role in the production and reception of African literature. This session will be an opportunity to discuss the place of French-speaking African literature in literary blogs, YouTube videos and Facebook.

Session 10. Discussion with Gangoueus

Gangoueus is one of the most influential African bloggers. Students will discuss his work with him.

Session 11. African literature in the feminine

A look back at the place and role of women authors in French-speaking African literature.

Session 12. Mariama Bâ and Léonora Miano

Focusing on the works of Mariama Bâ and Léonora Miano will allow us to better measure the changes in the role of women authors in French-speaking African literature. Possible presence of a female author.

Session 13. 2006 and 2021

In 2006 and 2021, the most important literary prizes were won by African writers. Students will discuss the impact of these events on French-speaking African literature.

Session 14. Mohammed Mbougarr Sarr

Mohammed Mbougarr Sarr received the Prix Goncourt in 2021 with *La plus secrète mémoire des hommes*. How to analyze this novel?

Session 15. Review and perspective

Students will review the course, ask for clarification, give their opinions, etc.

5. 成績評価方法 : Students will be expected to participate in class and prepare for the sessions. Students will answer general knowledge questions and questions related to the analysis of literary texts.

6. 教科書および参考書 : Students will receive excerpts from literary works before the first session. Additional excerpts may be distributed as the course progresses.

7. 授業時間外学習 : Students will benefit from reading the complete works in addition to the excerpts studied in class.

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他 :

The course will be given in French, taking into account the fact that the students are not French speakers.

科目名：フランス文学研究演習Ⅰ

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：今井 勉

コード：LM13206, **科目ナンバリング：**LGH-LIT648J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. **授業題目：**近現代フランス文学テキスト読解（1）

2. **授業の目的と概要：**この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。

3. **学習の到達目標：**近現代フランス文学の理解を深め、テキスト読解のスキル向上をはかる。

4. **授業の内容・方法と進度予定：**

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 導入&テキスト読解（1）

第2回 テキスト読解（2）

第3回 テキスト読解（3）

第4回 テキスト読解（4）

第5回 テキスト読解（5）

第6回 テキスト読解（6）

第7回 テキスト読解（7）

第8回 テキスト読解（8）

第9回 テキスト読解（9）

第10回 テキスト読解（10）

第11回 テキスト読解（11）

第12回 テキスト読解（12）

第13回 テキスト読解（13）

第14回 テキスト読解（14）

第15回 テキスト読解（15）

5. **成績評価方法：**授業への参加状況 100%

6. **教科書および参考書：**Google クラウドで資料を配布します。

7. **授業時間外学習：**毎回、十分な準備をして臨むこと。

8. **実務・実践的授業/Practical business**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅱ

曜日・講時：水曜 2 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：今井 勉

コード：LM23208, **科目ナンバリング：**LGH-LIT649J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. **授業題目：**近現代フランス文学テキスト読解（2）

2. **授業の目的と概要：**この授業では、近現代フランス文学関連のテキストを精読します。

3. **学習の到達目標：**近現代フランス文学の理解を深め、テキスト読解のスキル向上をはかる。

4. **授業の内容・方法と進度予定：**

（以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。）

第1回 導入&テキスト読解（1）

第2回 テキスト読解（2）

第3回 テキスト読解（3）

第4回 テキスト読解（4）

第5回 テキスト読解（5）

第6回 テキスト読解（6）

第7回 テキスト読解（7）

第8回 テキスト読解（8）

第9回 テキスト読解（9）

第10回 テキスト読解（10）

第11回 テキスト読解（11）

第12回 テキスト読解（12）

第13回 テキスト読解（13）

第14回 テキスト読解（14）

第15回 テキスト読解（15）

5. **成績評価方法：**授業への参加状況 100%

6. **教科書および参考書：**Google クラウドで資料を配布します。

7. **授業時間外学習：**毎回、十分な準備をして臨むこと。

8. **実務・実践的授業/Practical business**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ

曜日・講時：月曜 3 限

セメスター：1 **単位数：**2.00 単位

担当教員：黒岩 卓

コード：LM11306, **科目ナンバリング：**LGH-LIT650J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語・フランス文学史の諸相（1）

2・授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書（Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002）を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。

3. 学習の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。）

- 第一回 pp. 11-25.
- 第二回 pp. 27-37.
- 第三回 pp. 37-47.
- 第四回 pp. 47-58.
- 第五回 pp. 59-70.
- 第六回 pp. 71-80.
- 第七回 pp. 80-90.
- 第八回 pp. 90-99.
- 第九回 pp. 99-108.
- 第十回 pp. 109-118.
- 第十一回 pp. 119-131.
- 第十二回 pp. 131-138.
- 第十三回 pp. 138-147.
- 第十四回 まとめ（1）
- 第十五回 まとめ（2）

5. 成績評価方法：100% attendance (weekly French-Japanese translation)

6. 教科書および参考書：Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.

7. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅳ

曜日・講時：月曜 3 限

セメスター：2 **単位数：**2.00 単位

担当教員：黒岩 卓

コード：LM21304, **科目ナンバリング：**LGH-LIT651J, **使用言語：**日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語・フランス文学史の諸相（2）

2・授業の目的と概要：フランス語の歴史をその起源から学び、また現代世界におけるその広がりについて学びます。指定された教科書（Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002）を基に、フランス語の起源から今日におけるまでの歴史を概観します。同時に仏文解釈の練習も行います。前期・後期を別々に受講することも可能ですが、両方を受講することで理解がより深まります。

3. 学習の到達目標：フランス語の起源と歴史、現代におけるその諸相についての基礎知識を習得する。また仏文解釈のスキルを向上させる。

4. 授業の内容・方法と進度予定：

（以下に対象とする教科書のページ数を記します。実際には変更がありえます。）

第一回 ガイダンスおよび前期の総まとめ

第二回 pp. 148-159.

第三回 pp. 159-167.

第四回 pp. 167-176.

第五回 pp. 176-186.

第六回 pp. 186-196.

第七回 pp. 196-206.

第八回 pp. 207-218.

第九回 pp. 219-229.

第十回 pp. 229-238.

第十一回 pp. 239-249.

第十二回 pp. 250-259.

第十三回 pp. 259-271.

第十四回 pp. 271-280.

第十五回 pp. 281-286.

5. 成績評価方法：出席点 100%（毎週の仏文和訳）

6. 教科書および参考書：Mireille Huchon, Histoire de la langue française, Paris, Le Livre de poche, 2002.

7. 授業時間外学習：指定箇所の仏文和訳が必要になります。

8. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

9. その他：